

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	観光交流施設きらめきファクトリー	施設所管課	商工観光課
指定管理者名	富田林商工会		
指定期間(年度)	令和5年度～令和9年度	評価対象年度	令和 6 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	b	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	b	b
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	b	b
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	b	b
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 地元産品等の売上が要求水準に達している。	b	b
	25 観光資源の開発および魅力発信事業実施回数が要求水準に達している。	b	b

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者アンケートなどを活用し、観光客のニーズに応じたイベントの企画・運営を重点的に行うことで、誘客の促進に努めて下さい。	アンケートなどによる利用者の意見・要望を収集する仕組みはありますが、アンケート結果に基づいたイベント等の企画・実施には至っていません。令和7年度には、観光客のニーズに応じたイベントによる誘客促進に期待します。
イ	大阪・関西万博を契機に増加が見込まれるインバウンドの誘客に向けた取り組みを進め、年間利用者数の目標達成に努めて下さい。	本市観光資源の情報発信やイベント等の効果により、年間利用者数の目標を達成しました。今後は主にインバウンドをターゲットとしたイベントや誘客促進策の実施を期待します。
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	本社経費を計上しない体制なので、年度収支計画はクリアしました。貸館利用率は未達ですが、年間利用者数、地元産品等の売上げ、事業イベントの実施回数は、要求水準を超えました。「じないまち四季物語」に合わせて、大きな催事を企画して誘客をサポート。プロジェクションマッピングの効果をさらに高めるため専用のシートを貼り、また寺内町を探索できる仕掛けのデジタルスタンプラリーなどに、時代に合った観光DXツールも投入しました。
施設所管課	令和6年度は年間利用者数が要求水準を上回り、利用促進への取り組みが着実に効果を上げていると感じています。一方で、貸館利用率が目標値を下回っていることから、令和7年度は目標を達成できるよう、利用率を向上させる取り組みを実施してください。また、令和5年度に引き続き、地元産品の売上高や魅力発信事業実施回数は要求水準を達成しました。イベントへの出展や販売促進企画実施の効果が着実に出ていることと評価しています。令和7年度は、万博による大阪への観光波及効果を存分に享受していくため、特にインバウンドへ向けた観光資源の魅力発信や、誘客促進策の実施を期待します。

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年)		【千円】					
		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料		22,842	22,842	26,006	26,006	26,172	26,172
利用料金		240	195	300	301	330	246

2. 要求事項

年間利用者数		地元産品等の売上げ向上		観光資源の開発および魅力発信事業イベント実施回数(年間)	
要求水準	30,000 人	要求水準	2,236,000 円	要求水準	30 回
目 標	28,600 人	目 標	2,265,000 円	目 標	31 回
実 績	30,316 人	実 績	2,321,450 円	実 績	33 回

➡③評価項目7と相互

➡③評価項目24と相互

➡③評価項目25と相互

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林寺内町4施設	施設所管課	文化財課
指定管理者名	株式会社ビケンテクノ		
指定期間(年度)	令和5年度～令和9年度	評価対象年度	令和 6 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	b	b
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	b	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	c
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	c	c
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	b	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 ホームページ年間アクセスカウント数が要求水準に達している。	d	d
	25 集客・賑わい創出事業及び歴史・文化等に関する普及啓発事業の年間実施回数が要求水準に達している。	a	b

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	富田林寺内町4施設は、重要伝統的建造物群保存地区である寺内町の町並みを守っていくための拠点施設であることを認識し、地域との交流及び連携を図られたい。	富田林寺内町の景観保全と文化財の活用を図り、寺内町の賑わいや交流を図るために、企画展や旧杉山家ガイドツアー、寺内町散策ツアーなど重要伝統的建造物群保存地区富田林寺内町でなければできない事業と、じないまち交流館と寺内町センターを活用した体験講座など地域の賑わいや交流を創出する事業として開催し、寺内町に来れば4施設のどこかで何らかの催事を行っているという事業展開を実施しました。今後も更なる事業展開を図って参ります。
イ	富田林寺内町の魅力発信を図り寺内町への来訪者を増やすため、学芸員を中心に、富田林寺内町や文化財施設、そこで活躍した人への理解を深め、より効果的な展示や事業を充実されたい。	寺内町センターの企画展「富田林と相撲の歴史」では市内の美具久留御魂神社に残る板番付や化粧廻しなどの相撲に関する資料を展示し、富田林市における相撲の歴史、日本の国技である相撲の歴史について紹介する展示を開催しました。また、寺内町センターにて大阪公立大学名誉教授 山中浩之氏を講師として、「富田林と相撲史」として富田林の村相撲についての講演会を開催しました。今後も企画展に関連した講演会等を開催し、効果的な展示を図ってまいります。
ウ	年度収支計画に基づき、予算額と実績額の乖離の縮小に努められたい。また、実施計画通りに予算執行されていない経費については、内容を検証の上、次年度以降に剰余金の一部を繰り越すなど検討されたい。	特に大きく乖離していた宣伝費については、令和6年度にも1,735,800円を計画し、令和5年度未執行額と合算すると2,692,678円になります。令和6年度ホームページ維持管理費を除く2,342,678円については令和6年度中に近鉄阿部野橋駅地下のサイネージに「富田林寺内町」の広告を令和7年2月より1年間放映し、寺内町のPRを図ることにより、来訪者数、入館者数の増加を図るようにしました(約2,112,000円)。また、実施計画通りに予算執行できなかった経費については、剰余金の一部を充当して、事業展開を図ってまいります。

⑤評価者コメント

指定管理者	指定管理運営業務2年目にあたる令和6年度は前年度の不備事項を改善するよう遂行しましたが、計画予算と実績額の乖離が減少したとはいえ、まだまだ不十分であり今後更なる予算執行に努めて参りたいと考えます。また、入館者数やホームページアクセス数が要求水準・目標値に達しなかった件についても、イベント・行事の周知方法の改善やホームページの更新件数を増加し、フェースブックやInstagramを多用して情報発信を行い、入館者の増加、ホームページアクセス数の増加となるよう努めて参りたいと考えます。
施設所管課	令和6年度について、施設の年間入館者数はじないまち交流館が目標値に達しなかったが、旧杉山家住宅は目標値に達している。今後も来訪者の増加を図ってもらいたい。ホームページのアクセス数については仕様書の目標値は達成されず、毎月閲覧者数が横ばいのため増加に向けて取り組まれたい。また、地域との関わりについては、じないまち四季物語等への参加を基に、今後さらに交流・連携に繋げてもらいたい。事業の実施回数について目標回数を達成したことは評価できるので、今後は周知方法の工夫等により、入館者数やホームページアクセス数の目標値達成に努められたい。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

		【千円】				
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
		予算	決算	予算	決算	予算
指定管理料		31,095	31,095	33,033	33,033	33,033
利用料金		2,547	3,585	3,300	2,995	3,520

2. 要求事項

じないまち交流館 年間利用者数		
要求水準	30,000	人
目 標	30,000	人
実 績	24,380	人

➡③評価項目7と相互

旧杉山家住宅 年間利用者数		
要求水準	9,000	人
目 標	9,000	人
実 績	9,458	人

➡③評価項目24と相互

ホームページ年間アクセスカウント数		
要求水準	30,000	回
目 標	30,000	回
実 績	24,080	回

➡③評価項目24と相関

集客・賑わい創出事業の 年間実施回数		
要求水準	6	回
目 標	6	回
実 績	10	回

➡③評価項目25と相関

歴史・文化等に関する普及啓発事業の 年間実施回数		
要求水準	6	回
目 標	6	回
実 績	11	回

➡③評価項目25と相関

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市民プール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社オーエンス		
指定期間(年度)	令和5年度～令和9年度	評価対象年度	令和 6 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	a
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	c	c
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	24		
	25		

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	台風の影響による休館という事情はあるものの、年度収支計画の予算額に対して少額ではありますが、未達となっております。引き続き、稼働期間外での施設のPR活動や広報活動の実施を行い、貴社で管理されている類似施設でのノウハウを活かし、更なる施設の利用促進に努められたい。	令和6年6月初旬から令和7年8月末日にかけ、全小中学校へのチラシ配布、HP・SNSや施設内での受付・放送案内によるイベント情報のアピールが行われましたが、利用料金収入・利用者数共に要求水準に対して未達に終わっております。令和7年度につきましては、改善計画を見直すとともに、令和6年度の未達要因であった酷暑についても対策を講じていただき、要求水準達成にむけ取り組んでいただきたい。
イ	施設の運営実績の把握のために、来場者の推移について他市との比較を踏まえた数値について実績報告いただきたい。	提出いただいた資料通り、本市同様、貴社の管理する屋外プールでは前年度に比べ減少傾向になり、屋内プールの利用人数が増加傾向にあります。屋外プールの減少については、猛暑が要因の一つと考えられますので、次年度につきましては、猛暑対策を講じて、利用者数の回復に向け取り組んでいただきたい。

⑤評価者コメント

指定管理者	令和6年度は、当施設がリニューアルから10年目を迎える節目の年でした。ネーミングライツ記念事業として、還元施策や自主事業の拡充に取り組みましたが、猛暑や気温低下の影響により利用者数は前年の83%にとどまりました。来年度は熱中症対策や職員研修を強化し、サービス向上と安全管理に努めます。
施設所管課	酷暑の影響もあり、令和6年度の利用者数の要求水準に対して達成率93.4%と未達となり、前年比でも83.2%と利用者数が減少しています。しかしながら、他市でのプール運営のノウハウを活かしたイベントの実施や安全管理については引き続き高く評価できます。また、ネーミングライツ事業に応募いただき、割引チラシの配布等、地域貢献、サービスの向上に努めていただきました。令和7年度につきましても、酷暑が予想されておりますので、貴社でのノウハウを活かし、熱中症対策を行い、利用者の安全管理に努めるとともに更なるサービスの向上に努め要求水準の達成を期待しております。

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年)

【千円】						
	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	16,972	16,972	17,937	17,937	17,937	17,937
利用料金	1,400	1,692	2,500	2,494	2,500	2,126

2. 要求事項

年間利用者数		
要求水準	19,200	人
目 標	22000	人
実 績	17,939	人

要求水準		円
目 標		円
実 績		円

➡③評価項目7と相互